

# 勝林寺寺報

十方諸有の衆生は  
弥陀至徳の御名を聞き  
眞実信心いたりなば  
おきに所聞を慶喜せん

「淨土和讃」のなかの眼目のようなこの一首、  
大切にいたゞかせてもらわねばなりません。

「信ハ道ノ元トナス、功德ノ母ナリ」（華嚴經）

「信心」ということについて「大智度論」には  
次のように説明されています。

「經典には、信は手のごとしと説かれています。  
信がないのは、手のないようなものです。手が  
なければ、宝の山に入つても、何も取ることが  
できないでしょう。信のないのは、まさしくそ  
のよう、仏法の宝の山に入つても、全く得る  
ところがありません。」

信心の智慧の目が開かれなければ、親のお慈  
悲のなかにいても、親にいたかれてあるよろこ  
びはありません。

如來のいのちのなかにあるよろこびに入るに  
は、「信心ヲモツテ能入トナス」のです。「疑  
情（うたがいのところ・我執の城）」こそが如  
來の功德（はたらき）に目をとざし、親の慈悲  
を拒否するのです。

## 〔信心〕

如來のいのちのなかと知る智慧の目は、親の  
願いのなかとめざめる信心は、どのように開か  
れるのでしょうか。

『大智度論』のなかに天王が、さとりを開  
かれたお釈迦様に、是非とも法を説いて、衆生  
の信心を開いてやつてくださいと勧請すると  
ころがあります。

「あたかも水中の蓮の華が、生命あり熟しき  
ついて、地中からまた出ることのないままで、もしも日光を受けないならば、花を開くことができないようなもの。ほとけもどうか大慈悲をもち、衆生をあわれみいつくしまれて、衆生のために法をお説きくださいますよう」

如來のいのちの中、親の慈悲のうちと、眞実に  
めざめさせていただけるのは、それは私の、かい  
しょや力ではなくて、私の疑情・無明のカラをや  
ぶつて、如來の御名「南無阿彌陀仏」が、今、時  
ひらけて至りと見て聞えてきたからです。

「南無阿彌陀仏」の如來の御名は、十方諸有の  
衆生（どこの、どんな世界に生きているいかなる  
いのち）も、如來眞実のいのちのなかに、からめ  
とらなければ「南無阿彌陀仏」とよばれまいとい  
う眞実の願いから、さげび出される御名です。

その御名が聞こえて、私の疑い心がくだけ、  
如來のいのちにうちまかせ、如來の家に生れかわ  
つたそのことを、「如來本願力回向の信心」とい  
うのです。

ですからこの信心は、「これほど信じているの  
だが、ほんとにこれで救われるのだろうか」など  
という、あやふやな信心とは全く違います。

どこのどんな世界に生きている如何なるいの  
ちも、如來のいのちのうちにからめ取らなければ  
と、誓い願う、たしかに確かな本願によりささき  
れた「ご信心」ですから、ただもう、その親心を  
聞いたうえにも聞かせていただき、めぐまれた身  
のしあわせを慶喜させていただばかりであります。

それが淨土真宗の「ご信心」と教えてくださる  
のです。

四月十一・十二日、出石組「念仏奉仕  
團」がご本山にお参りしました。百六十  
十五名・第二日目の朝、勝林寺は大谷

回は、田村その様・渋谷初次様・藤本  
富枝様の納骨でしたが、その遺族のほかに浜明男・斎藤保様ご夫妻もお参り  
くださいました。

なお、六月四・五日の研修旅行のと  
きにも、大谷本廟参拝・納骨式が予定  
されております。

## 「念仏奉仕団」

### 納骨式

四月十一・十二日、出石組「念仏奉仕  
團」がご本山にお参りしました。百六十  
十五名・第二日目の朝、勝林寺は大谷  
回は、田村その様・渋谷初次様・藤本  
富枝様の納骨でしたが、その遺族のほかに浜明男・斎藤保様ご夫妻もお参り  
くださいました。

なお、六月四・五日の研修旅行のと  
きにも、大谷本廟参拝・納骨式が予定  
されております。

悪いことは何もしていないと  
思つたときにこそ  
悪いことをしたと  
するものではない。  
思つたときにだけ  
悪いことをしたと  
するものではない。

反省

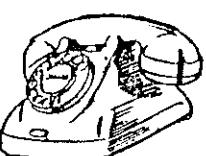
## 五月のこよみ

- |      |                               |
|------|-------------------------------|
| 一日   | 兼井征夫氏宅忌明・平田專福守永代経             |
| 二日   | 平田專福守永代経                      |
| 三日   | 森戸義則氏宅法事・中島庄一氏宅法事             |
| 四日   | 中島英夫氏宅法事・玉井啓介氏宅法事             |
| 五日   | 清水儀一氏宅法事                      |
| 六日   | 渡井元三郎氏宅 泰月                    |
| 七日   | 高鶴萬代志氏宅法事                     |
| 八日   | 廣島石崎家懇誠                       |
| 九日   | 兵庫教区企画推進室会議・玉田会               |
| 十日   | 兵庫教区基督教運動推進委員会                |
| 十一日  | 敬老会(区)                        |
| 十二日  | 教区弘法部研修会                      |
| 十三日  | 十五日 清水儀一氏宅法事                  |
| 十四日  | 十六日 広島石崎家懇誠                   |
| 十五日  | 十七日 兵庫教区基督教運動推進委員会            |
| 十六日  | 十八日 同                         |
| 十七日  | 十九日 教区弘法部研修会                  |
| 十八日  | 二十日 姫路本願寺                     |
| 十九日  | 二十一日 降誕会(不山)・仏教と医療・福祉の研修会(京都) |
| 二十日  | 二十四日 「みのりを聞く会」                |
| 二十一日 | 二十五日 同                        |
| 二十二日 | 二十六日 ピハーラ 研修会(木山)             |
| 二十三日 | 二十七日 同                        |
| 二十四日 | 二十八日 滋賀県新院寺永代経                |
| 二十五日 | 二十九日 同                        |

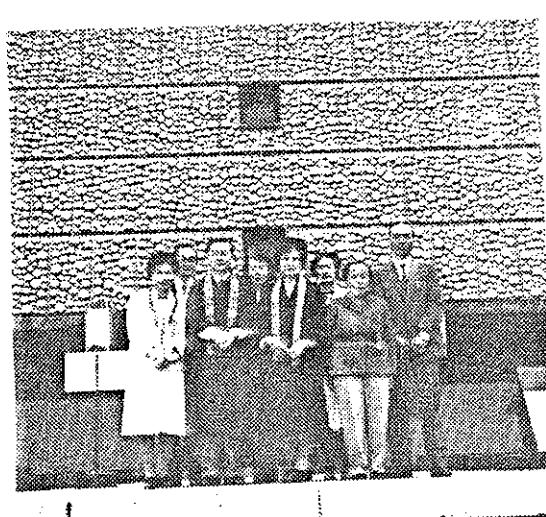
三月三十日

葬儀

079652-5800  
いつもどこでもだれでも聞ける  
勝林寺電話



栗尾兼井あや子様



## ビハーラと

お念佛のなかの「御同朋(きょうだい)  
」として、互に老後や病気をたすけ合い  
、せつかく恵まれた人のいのちを、最後  
まで輝かしく生きぬき、堂々とみことには  
死を迎えるではないかと、いま淨土真  
宗では、このことについての研修をはじ  
めました。住職も今年からその勉強(ビ  
ハーラ)をはじめます。それから寺でも  
おとしよりの看護も坊守がはじめさせて  
いただきます。どうぞ相談ご利用くだ  
さい。

ある村では住民の七十%が高齢者、從  
つて独居老人も沢山いらっしゃいます。  
老人大学やゲートボールで「明るい老後  
を」といっておれる間はいいとして、そ  
れでも一番心配なのは病気になつたり動  
けなくなつたときのことです。  
国では、こんなに増えた老人のお世話  
にはとても福祉を行きとどかすことはで  
きません。それで結局、私たちの老後は  
私たちお互がみどるよりほかありません。  
ハーラ)をはじめます。それから寺でも  
おとしよりの看護も坊守がはじめさせて  
いただきます。どうぞ相談ご利用くだ  
さい。

人間にとつて大切なこと

「たたえます」

みなさんは平常、友だちや近所の人たちと、どんな話をなさいますか？

私たちは、人の良いところより悪いところを見つけるのが上手です。それで、人の悪口を言はうが人をほめるよりも上手です。しかし、人の悪口を言つたときあとでいやな思いがします。人をほめたときは気持ちのいいものです。

人の悪口は、相手の人をよく知らなくても言えますが、人をほんとにほめるには、相手の人をよく知らなければできません。相手のことをよく知らずにほめたりすると、ほめたつもりでも、相手の人にいやな思いをさせることになります。たとえば、自分の病気を気にしている人に、「あなた、ご健康でお美しいわね」とほめれば、その人はかえつていやら思ひをするでしょう。このように、ほめるということは、かなりむずかしいことです。

先にも申しましたが、人を本当にほめたよえるには、相手の人を本当に知ることが必要です。相手の人を本当に知るために、その人の態度やことばをすなおに聞き、見ることがなにより大切です。いやな人だという目やところで、人を見ると、どんなに素晴らしい人でも、いやな人に見えてしまいます。人を本当にほめたためには、その人のことはや態度をすなおに聞き、見ることのできる人だけが、人を本当にほめたためることができます。

例年催して参りました仏社・仏婦主催の「研修旅行」を下記のように計画されました。

お念仏の同朋、同じ勝林寺門徒どうしの気のかけない旅行と、年々好評のなかで続けてきました。

どうぞ早めにお申込みください。



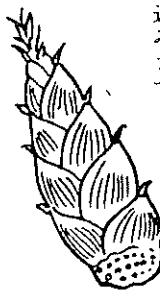
たけのこ

たけのこ

たけのこ

(たきかた)

ふつう一般には湯がいて炊かれます  
が、一度湯がかず炊いてみて下さい。  
箇そのもののうまみが味わえます。  
ア、堀りたての筍(にかぎる)を、す  
ぐに皮をはぎ、食べ安い大きさに切  
ります。



一筆御礼申し上げます。  
春季四月修会開催日  
阿弥陀如来さまのみ教えをすなおに聞き、如來さまの光の眞実の明るさ、清淨なあたたかさ、  
を知つた人は、「ナモアミダブツ」と阿弥陀如來さまをたたえずにはおれないのです。  
「ナモアミダブツ」は、清淨なるもの眞実なる如來をほめたたえる最高のことばなのです。  
藤田徹文先生「仏さまのお話」を、  
これからしばらくつづけて連載させていただきます。

いのちの花咲く  
春季四月修会開催日

夕刻七時からは「観桜会」でした。特設舞台には満開の桜をあしらい、その花吹雪のなかで、ひきもきらぬ出演者のカラオケ大会を充実した二時間でした。

永井孝一郎司会者はベテランながら、これをさばくのに汗ダクの大奮斗でありました。

昨年は雨のため不発に終つたソフトボーラー大会は、今年三チームに分かれての熱戦を展開しました。高橋チームが圧倒的な点差をあげて優勝しました。

初参式のお礼状をいたしました。おばあちゃんとおかあ様からいただきました。

が、その一つを紹介します。

小谷の宮嶋幸子様からです。

人の悪口しか言えない人はさびしい人です。人をほめたたえることのできる人は、心の豊かな素晴らしい人です。

また、人を本当にほめたたえる方法は、その人の名前を呼ぶことです。たとえば、あなたの大好きな松田聖子ちゃんをほめたたえるのに、多くのことばはいりません。「せい子ちゃん」と呼ぶだけでいいのです。

「せい子ちゃん」の言葉のなかに、いくら多くのことばをつかつても、ほめたたえることのできないほどの心がこもつているからです。

阿弥陀如来さまのみ教えをすなおに聞き、如來さまの光の眞実の明るさ、清淨なあたたかさ、を知つた人は、「ナモアミダブツ」と阿弥陀如來さまをたたえずにはおれないのです。

「ナモアミダブツ」は、清淨なるもの眞実なる如來をほめたたえる最高のことばなのです。

藤田徹文先生「仏さまのお話」を、  
これからしばらくつづけて連載させていただきます。

一筆御礼申し上げます。  
春季四月修会開催日  
生かされている私たちのいのちを改めて  
氣付かさせていただき、新しい命の誕生を  
みんなで育み健やかな成長を見守りたいと  
存じております。  
主人もうれしくて、にこやかに写真を押  
見いたしております。  
お心の程心からお礼申し上げ失礼いたし  
ます。